

## ①くらしやすいと感じること

(昔と比べてよくなった点、近隣市町より優れている点、今後さらに磨きをかけたい点など)

- 町内で生活が完結する、全てが整う
- バスで三島・沼津に行け、駅が利用できる  
(交通の便が良い)
- 大型商業施設があり、生活利便性が高い
- 商業施設や病院が多く充実している
- 子育て、教育への関心度が高い(こども食堂など)
  - ・こども食堂は、団体や役場などの協力、寄付もあり運営できている
- 交通に不便さはあるが、少しずつ道路整備が進んでいる
- 水が豊富、自然が豊か
- 自然が美しい(柿田川公園、丸池公園、狩野川ふれあい広場など)

- 自然との調和がとれたまち
- 静岡県東部圏内、東京へのアクセスが良い
- 町外の大学に通う大学生への支援がある
- 幼稚園に外国人クラスがある
- 商工業フィールドワークなど地元の企業に興味を持てる機会がある
- 「清水町ふるさと学生応援事業」では町が地元の学生を応援する姿勢が見られた

## ②くらしにくいと感じること（課題を抽出し、解決策について意見交換）

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 高齢者が気軽に健康教室に参加できない<ul style="list-style-type: none"><li>・バスの本数が少ない</li><li>・車がない人も多く、公共交通をさらに充実化する必要がある</li></ul></li><li>● 道路幅が狭く、安全ではない道もまだある</li><li>● 荒れたままで活用されていない土地がある</li><li>● 自転車の通行ルール（道路交通法改正）に町は対応できるか（道路幅が狭く自転車が通行しにくい）</li><li>● 不法投棄が多い</li><li>● 外国人との接点が少ない、ごみ捨てルールの周知が足りていない<ul style="list-style-type: none"><li>・町ホームページ上には、ゴミの正しい出し方に関する情報が日本語しかない。</li></ul></li><li>● 「やさしい日本語」が活用されていない</li><li>● 居住地と離れた保育所に入所せざるを得ない場合がある</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 幼保再編計画や保育所入所に関する案内が少ない</li><li>● 教育に関する家庭での費用負担が多い</li><li>● 水害の心配がある（徳倉地区）、さらなる水害対策が必要</li><li>● 給食費を払えない・払わない家庭がある</li><li>● 体育館にエアコンがない</li><li>● 道路に矢羽根（自転車の通行表示）があるが、自転車が逆走していることがあり危険</li><li>● 自転車の通路・歩道に枝が飛び出ている</li><li>● 外国人児童への支援や対応が必要</li><li>● コロナ禍以降、地域の交流が少なくなった、イベントなどの楽しみが減った</li><li>● 若者がローカルな距離で仲間を見つけるのが難しい</li><li>● 情報発信力が弱い（SNSの使い方など）</li></ul> |
|--|---|

## ③今後のまちづくりに向けた提案

- 公共交通（バス）の充実化
- 健康教室の拡充
  - ・ 若者や外国人向けの教室も検討
- 放置された土地の活用
- 「やさしい日本語」を使った情報発信
- 幼保再編計画など、幼稚園・保育所等に関する情報発信の拡充（転入者も多いため幼児健診等での周知も必要）
- 外国人コミュニティとの関わりをもっと増やす
- 外国人が地域や学校と関わるができる環境づくり
  - ・ PTA活動などへの参加促進
  - ・ 防災知識の共有、外国人防災リーダーの育成
  - ・ こども食堂への参加
- 若者向けのイベントやアクティビティなど、若者同士がつながれる、交流できる場所を作る
- キッチンカー、フリーマーケット等のイベント開催による賑わいづくり
- 大学生が地元企業に興味を持てる機会をつくる（商業フィールドワークなどを継続実施）
- 町の施設を有効活用し、企業と連携した取組・イベントを行う（eスポーツなど）
- SNSでの情報発信に力を入れる、発信方法を工夫する（文字情報だけではなく、画像や動画で発信）
- ママパパのコミュニティのきっかけづくり
- 体育館にエアコン、または断熱材を設置する
- 学校用品を行政や学校で用意し、子育て家庭の教育負担を軽減する仕組みをつくる
- 給食費に関する補助（給食費無料化など）